

「2025 CCCJ WEEK」分科会を開催！

2025年9月9日、日本中華總商會は東京・日本橋ベルサール会議センターにて「2025 CCCJ WEEK」分科会を主催しました。本イベントでは、「インバウンド分科会」「ヘルスケア分科会」「スタートアップ分科会」の3つのテーマを掲げ、日中両国の経済・産業界を代表する専門家や学者、企業家が一堂に会しました。訪日外国人観光の未来戦略、健康管理の最先端技術、グローバル起業とイノベーションといった重要課題について活発な議論が交わされました。

当日は、会長の蕭敬如氏、評議員会会長の嚴浩氏をはじめ役員陣に加え、中日両国の著名企業代表や華商代表など170名を超える参加者が集い、盛況のうちに終了しました。



インバウンド分科会

午前10時より、「2030年6,000万人へ：インバウンドのリアルと戦略 ～小売・交通・宿泊など訪日観光の最前線から～」をテーマに開催されました。

南海電気鉄道株式会社まちづくり推進室 グレーターなんば創造部長の寺田成氏は「大南大阪：街区再生の未来」を中心に、地域再開発と交通インフラ強化による訪日外国人観光客誘致の戦略について基調講演を行いました。

続いて、阪急阪神百貨店 海外顧客ビジネスグループ ゼネラルマネージャーの白井康之氏が、多様化する消費者ニーズに対応した観光マーケティング戦略を紹介しました。

パネルディスカッションには、株式会社アゴラ ホスピタリティグループ代表取締役社長兼 CEO のセン・ソヘイ氏、観光・インバウンド・デジタルマーケティングプロデューサーの高橋敦司氏、トキエア株式会社代表取締役、新潟県・新潟空港活性化検討アドバイザーの長谷川政樹氏らが登壇し、今後の訪日観光需要の変化と対応策について多角的に議論しました。



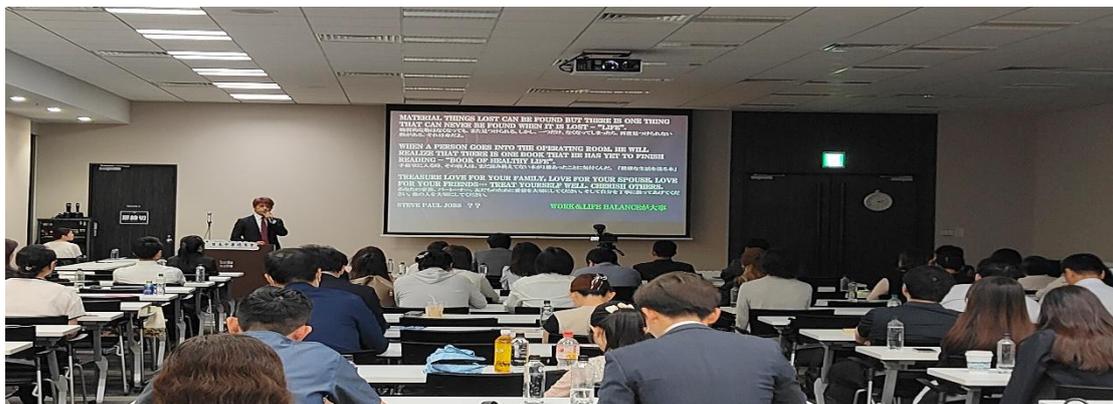
ヘルスケア分科会

午後には「ヘルスケアの未来」をテーマに分科会が開催されました。

株式会社セルバンク代表取締役で東海大学医学部客員教授の北条元治氏は「真皮線維芽細胞を活用した皮膚再生医療」について詳細に発表し、医療美容分野を含む健康産業の未来を示しました。

医療法人社団スカイ 新宿 NS ビルスカイクリニック院長の辻和彦氏は、経済的かつ個別化された健康管理サービスの重要性を訴えました。

また、EPS ホールディングス株式会社理事/EPD 株式会社執行役員の近藤真次氏は、日中両国の健康産業における最新の取り組みと将来展望を紹介しました。



スタートアップ分科会

午後3時30分から5時30分には「グローバル化するスタートアップビジネス ～ビジネスチャンスはどこにあるのか?!～」をテーマに分科会が開催されました。

パネルディスカッションでは、当会副会長の渡辺洋行氏が司会を務め、B Dash Ventures 株式会社代表取締役社長の渡辺洋行氏、コムスマ株式会社代表取締役社長 CEO の佐藤光紀氏、株式会社 NOVARCA 代表取締役社長 CEO の濱野智成氏、ecbo 株式会社代表取締役の工藤慎一氏が登壇。各社のグローバル展開成功事例や戦略、起業における課題とチャンスについて意見を交わしました。



今回の分科会は、日中両国のビジネス交流と相互理解を深める貴重な機会となり、参加者の事業拡大に大きく寄与しました。日本中華總商会は今後もこうした交流の場を提供し、日中経済の発展と華商ネットワークの強化に努めてまいります。

日本中華總商会事務局

2025年9月17日